

2013年7月13日 熊本大学工学部講義資料

「地域社会と企業」

企業を取り巻く環境変化

～マネジメントを目指す学生諸君への地域経営現場からのメッセージ～

URL: <http://www.preceed.co.jp/>

2008年5月16日

* 2009年5月8日

* * 2010年5月7日

* * * 2011年5月20日

* * * * 2013年7月13日

株式会社プレシード 松本修一

はじめに

変化は渦中に居るときは見えないものである。気づいた時に「ユデガエル」という事にもなる。変化は外部から或いは時を超えたときによく見えることは多い。社会変化は突然ではなく連続的であり、変化をいつ捉えるかは企業や人の能力である。大変革の時代だと確信しているが、地震ほどに突然やってくるわけではない。偶然では無く対処能力で時代の勝者と敗者に分かれる。今年の最大テーマ「リスクマネジメント」を念頭に置きながら

* 去年(2008年)の今頃はサブプライムローン問題は一部で語られていたが、今の深刻さは私の想像も遥かに超えていた。目の前ばかり見ていると本質を見誤り、今後の予測の判断を誤ることが多いのは多くの歴史が教えているが…。

* * 次の大きな変化がすでに始まっている。昇る国と沈む国、日本が堕ちて行く…

* * * 「ユデガエル」ではなく「沸騰した湯がひっくり返った」。犠牲は大きいがすぐ気づく…

いつか穏やかな日々が訪れるだろうが、それまでは多くの時代の犠牲が出るような変革が続く。避けられないのならば変化を楽しむ生き方を考えてみたい。

* この大不況が去っても勝者と敗者が出続ける変化は当分続く。

今後の生きる方向を冷静に考えるために、昨年この講義を元に考えてみたい。

自分の会社やビジネスも一年先はおろか、来月のことさえ見えない経営者で溢れている。

何処に今後の方向を見出すか、人生を懸けた判断が求められている。

* * 一年前に今日ここへ立つ日が再びあるとは思えなかった。

* * * 「東日本」でなく「西日本災害」だったら、この講義はなかった。来年は未だ出会っていない何かと出会った後となる。

* * * * アベノミクスで為替レート20%円安、株価4割上昇

***今年の最大テーマ

「リスクマネージメント」を念頭に置きながら

- 経営の最も重要な資質の一つが「リスクマネージメント」
普段は隠れた能力であり、表から窺い知ることは難しいが、ある日突然その能力が評価される。

最上策は未然防止であり、外からは「運が良かった」と判断されること。

二番目は「切りまわしが旨い」と実害を回避する。

三番目は「苦勞して何とか乗り切った」で苦勞で同情される経営者

最悪は「運が悪かった。」となる。

例え大地震と言えど経営は「想定外」では済まされない。が・・・

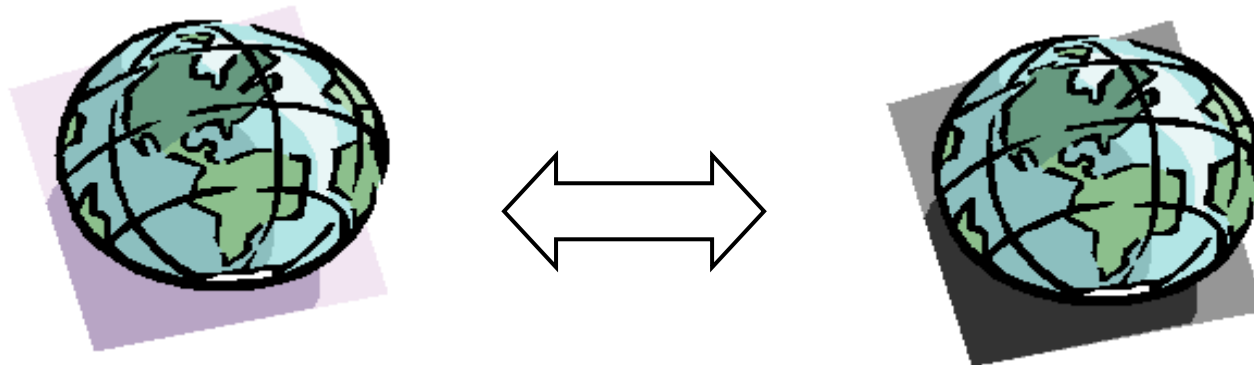
リスクマネジメントは上昇の重荷となる。→コスト

I. 会社概要

会社概要

代表取締役	松本修一
設立	平成元年11月
資本金	1億9900万円
従業員	50名 * * 62名 * * * 82名

表世界地図 と 裏世界地図



Ⅱ. 様々な変化の現状

* * 源は通信と物流、そして支えるコンピューターが引き起こした人類史上希に見る大変革

コンピューター：40年前まだSFの中の存在だった。
今、湯沸かしポットにさえ付いている。

* コンピューターがなかった時代からユビキタス社会への移行時代か、または人類史初の進化の拒否があるのか。(本当の進化かも)

* * ハイエンドの進化よりローエンドでの爆発的普及する動きが顕著

* * * 世界が同時進行する。世界は1000年前の村に等しい同時性。世界が“FUKUSHIMA”の状況・産業等への影響を詳しく知っている、ひょっとしたら日本以上に。

* * * * icloud、ビッグデータ

変化事例

* 変化は誰にも等しく訪れ、チャンスと共にリスクを携えながらやってくる

* * * 激変もある→リスクマネジメント

1. インフラ

物流と情報革命で世界が直結

* * 生産→消費へ直結が進む

* * * 「持っているのが当たり前」の見直し→サプライチェーン再構築

2. グローバル化

グローバルスタンダード → 失われていく「日本らしさ」: 抵抗か従うか

* * * 勝利への道 : 事例→「クールジャパン」「カワイイ」



変事例

* 変化は誰にも等しく訪れ、チャンスと共にリスクを携えながらやって来る。

* * * 激変もある→リスクマネジメント

1. インフラ

物流と情報革命で世界が直結

* * 生産→消費へ直結が進む

* * * 「持っているのが当たり前」の見直し→サプライチェーン再構築

2. グローバル化

グローバルスタンダード → 失われていく「日本らしさ」: 抵抗か従うか

* * * 勝利への道 : 事例→「クールジャパン」「カワイイ」「キモチいい」

3. IT化

昔ながらの現実社会とバーチャル世界＝二重世界。

* 实体经济を遥かにしのぐ金融バブルの虚構の繁栄と自滅がこの一年

* * 次のバブルが始まった?? 崩壊も始まった?

* * * IT化 地震と津波では電話で安否さえ確認出来ない。進化はもろさでもあった...

備えあれば...見直し。→これがリスクマネジメント

4. 雇用の流動化

転職は当たり前、企業も育てる意欲を喪失しつつある。

自ら育つ社会人たれ。

* 去年の今頃は未だ、労働市場は人手不足で売り手市場で人材探しが大変だった。今、「働ける有難さ」が浸透し始めた?

日本の競争力復活につながるか? * * 雇用数は増えないが人材探し

変事例

5. 二極化、多極化

- A. 変化を先取りする企業と人 → チャンスとリスク
- B. 変化に後追い対応できる企業と人 → 大きな負担で現状維持。
- C. 変化に対応できない企業と人 → 存在が重荷として扱われる。

**** 半導体・家電メーカーなど多くの日本名門企業の凋落

Aのみが勝者という2極化。

実際はBが多数派の日本企業も働く者も選び選ばれ二極に配される時代。

優秀な社員の困り込み奪い合いと雇用の流動化、選別。

近い将来、大学卒業でも能力によって初任給が違う2極化世界がやってくる。

* 今、Cの企業と人が市場から締め出され犠牲者が溢れている。

自ら招いた自業自得か本当に犠牲者なのかは語らないが、個々にとっては絶望的な現実と対峙しなければならない。

*** 激変もある。オイルショック、9・11、リーマンショック、3・11

変化への対応

1. 政治と社会環境

常に後追いで変化に対応するが、早い変化対応は勝利をもたらす。

* 今回の政治の対応は早かったか、遅かったか。

只、予想を超えていたのは事実だろう。

* * 後追いどころか停滞から逆行さえ始まった。期待はしても当てにできない。

2. 職場環境

コンピューターが人事、総務、経理から開発、工場、販売まであらゆる現場に浸透。変化は加速し終わりは無い変化が続いている。

* 全ての人がついて行ける変化とは思えない。

膨大な情報で分からないことが増えすぎる → 不安と諦め社会？

百科事典で暮らせた時代が懐かしい。

* * *

3. 「安全と水はタダ」→高価なモノと見直しが始まった。

世界から見た日本の特殊性

1. 狩猟民族(大陸国家) VS 農耕民族(村社会)

* 常に勝者である強いリーダーが支配する社会、勝つことへのこだわり。勝ち負けをウヤムヤにして皆で穏やかに生きていく古い村社会。
戦いに強い社会と弱い社会が同時に存在すれば、「村」は不幸であるのは明白だが。

* * * ウサマ・ビンラディンはどちらだったのか？

2. 「平均社会」から「多極化、階層社会」へ

* 多極的価値観の社会へ移行できないか。違いを尊重し認め合う。

* * 内部協議より即決型の強いリーダーが引っ張る社会へ??

3. 高齢化社会、単一人種言語社会

* 穏やかで争いを好まない、同じ価値観や常識を持つ社会＝特異な社会。

* * 最もグローバル化(国際化)が遅れた社会

Ⅲ. 対策

1. 「グローバル化、世界は一つ」の大潮流の中で熊本企業の選択は？

A. 籠城 B. 打って出る

* 今、大不況で命がけで籠城している企業も多い。

打って出る市場も全く見えないというが、それでも食料が尽きるのなら打って出なければならぬと思うのだが・・・。

* * 世界市場へ出ればリスクと共にチャンスがあるのは見えて来た。それでも動かないのか？

* * * 動かなければ、まだ大丈夫の終焉→動かなくても周りが動く。

* * * * やっと国を挙げて海外への中小企業工場進出を推進開始

2. 如何に状況に立ち向かうか

～変化の中での自然界の掟～変化への適合か滅亡か

* まさに百年に一度の破局的状況。

百年の歴史の潮流での今の変化とは？

私見：サブプライム、豚インフルエンザが象徴するのは、世界の片隅の出来事があったという間に世界に影響するという事例の教訓。

* * 昨日ギリシャで起きた出来事が世界に波が押し寄せる。

豊かな日本の終わりが始まった。共に墮ちるか、飛び出すか。

* * * 百年に一度→ついに千年に一度の変化？

* * * * アベノミクスに頼ろうとする不思議な風潮

Ⅲ. 対策

3. 中小企業経営現実の課題

～我が社の現状課題～

- ・ 経営(者)・社員のレベルアップ
- ・ 自主独立メーカーへの道
- ・ 自己責任ルールでの外部との強者連携

* この方向が合っているのか・・・ → 分からない。

しかし、経営は行動を急がねばならない。氷河期に餓死する前に。

* * 出来るかどうかは別として今は方向は正しいと確信している。

* * * 地元中小企業の連携強化—情報・人・モノの交流促進。

* * * * グローバル、ビッグデータなど進化へのコスト巨大化

4. 熊本地域産業が目指すべき課題は？

～市場主義経済の原点～

熊本で何を提供することが市場(顧客)から求められるか。

* 地域とは何？生活範囲、影響し合う居住範囲？

多くても、五千年前は数十人、千年前数百人、百年前数千人、50年前数十万人、今は？ 地域のサイズはテーマによる。

* * one world に one market が原則として社会を見よ

* * * 「世界が一つの地域」を次々と実感する出来事

IV. 社会へ出る前のアドバイス

1. 行動力

世界を歩ける人間へ

* 言語、風俗、価値観が異なる世界へ足を踏み入れる。
先ずは観光でもいいが。

2. 道具

英語、パソコン、メモ、新聞？

* 情報の受発信手段拡大と選別。選別は人生の反映。
* * 勿論webの進化に遅れない。

3. マインド

失敗とハングリーに慣れる、ライバルは3Kとハングリーに耐える。

* 成功体験が大きな失敗に繋がる。失敗は学びの場。
豊かな者は失うものを恐れ、貧しい者は恐れるモノが少ない。
* * * 今から日本人はハングリーを知り強くなる。→激変で再生へ

4. 習慣

早起き、挨拶、偏食なし

* だまされたと思って世に出る前に身につけよう。
豊かな人生を送りたいなら。（失敗経験からの学んだ教訓）

V. 最後に

提案 「責任力」を身につけよう

・「責任力」

「責任感」という言葉と敢えて使い分けたいと思うのは、受け身の「責任感」ではなく、自ら求めて決意して責任を全うする姿勢をさす言葉として「責任力」を使いたい為。

* 激しく変化する時代が今後も続く。この時代に生まれた限りはこの変化を前向きに捉え、良い変化として社会に適応させるリーダーとして生きてもらいたい。

時代が間違った方向に進むか、多くの人類をかってない幸福に導くかが今からの若者の双肩にかかっている。

道具もチャンスもわずか30年前には考えられないほど揃った。

どう活かすか常に考えてもらいたい。相手を倒すような勝者ではなく、共に競いながらも助けあうような人や企業が最後の勝者となる時代を夢見て生きてもらいたい。

*** 「ユデカエル」でなく沸騰水を浴びせられて、自己責任を自覚しまだ持っている日本の先人の財産の上に居ることに気づこう。

**** クールジャパン

以下番外編

「リーダー達の感じる名言録」

経営者の覚悟とは

秋の日は雨か嵐か知らねども、今日の勤めの田草摘むなり。 ～二宮尊徳
例え明日地球が滅ぶとも、私は今日リンゴの種を植える。

「ただ憧れを知る者のみが我が胸の痛みを知る」 ～ゲーテ「ミニヨン」より

- ・動機善なりや 私心なかりしか ～稲盛和夫
- ・正しかれ、恐れるな
- ・リーダーシップはいいものだが、それに伴う罰もある。
最大の罰は孤独である。...中略、真実ばかりでなく、真実をどう思っているかを隠さねばならない場合が多い。 事実は正反対でも、そう言ってはならないことを知らねばならない。 ～シャクルトン
- ・トップマネジメントは孤独である。 ～P・ドラッカー
- ・燕雀いづくんぞ鴻鵠の志を知らずや ～項羽
- ・天を怨まず人を咎めず、我が誠の足らざるを尋ぬべし ～西郷隆盛
- ・Be above the expectation! ～樫島郁夫熊本県知事
- ・他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる。 ～?
- ・沈む夕日を追う事なかれ、出る月を待つべし ～?

* * 終りに * *

経営とは小さな船で未知の世界に船出する帆船に似ている。
進路は行きたい方向に直線的には進めないし、どんなに完璧な体制でも
無風で走れないこともある。
クルーの力量や天候、船の規模によってもコースの判断も違う。
やっとたどり着いた目的地は楽天地の事もあれば荒涼たる大地のこともある。

目的地に着くこと(目的達成)が存在意義のすべてでは途中が空しい。
途中に出会う様々な出来事、嵐もあれば無風もある大雨もあれば故障もある、
病人も出るだろう。その全ても味わってみたいという覚悟があれば経営は
実に充実した人生をもたらす。

リスクを避けたければ、大きな夢を捨てて日々人生を安全に過ごすのも
一つの選択である。

* * * * 安穏な一生とは凋落の国家と同期する凋落人生とならざるを得ないのか？

死ぬほどの危機と他では味わえない感動の連続が私にとって経営だった。
どんな目にあっても創業を後悔したことはない。

表世界地图



裏世界地圖

